

記念出版『法燈の国際化をめざして』（法燈は海を越えて）

法燈は海を越えて

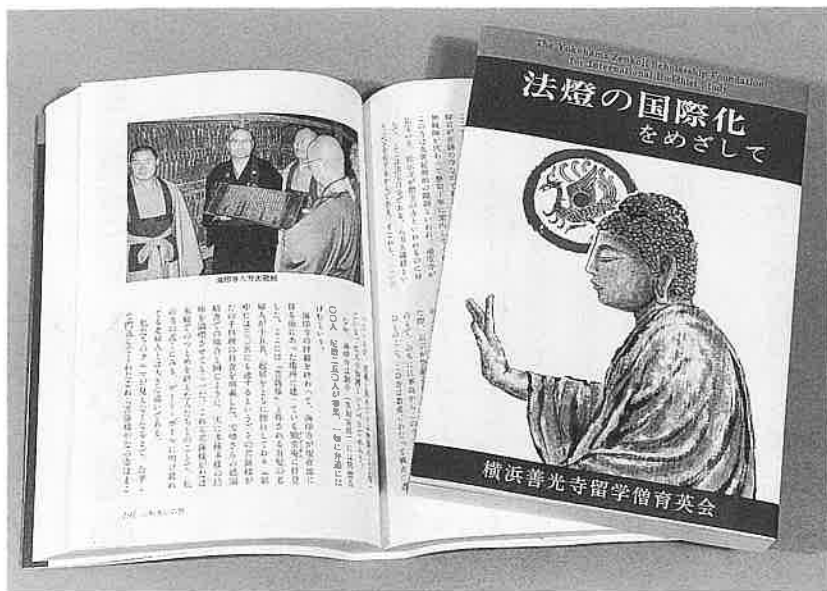
『中外日報』 4月23日付

横浜善光寺留学僧育英会（黒田武志理事長）は設立十周年記念事業の一環として、このほど『法燈の国際化をめざして』（『法燈は海を越えて』）を出版した。

横浜・善光寺の開創十五周年を期して、報恩行の一端として黒田住職が始めたこの育英会も十年の歴史を刻んだ。その間、日本の若き僧侶を海外に派遣し、また海外から日本への留学僧を受け入れ、資金援助を行っている。また黒田理事長、佐藤俊明常務理事（千葉県柏市・龍光

寺住職らは関係各国を歴訪し、視察と交流を深めてきた。

同書は十カ国にのぼる関係国の訪問記を集録したもので、序章を東隆眞理事（駒沢女子大学副学長）が執筆し、第一部に黒田理事長の国内とパリでの講演を掲載。間にインド、スリランカ、ミャンマー、タイ、カンボジア、中国、韓国、の見事なグラビアをはさんで、第二部に佐藤常務理事による「ふれあいの旅——関係十カ国訪問記」などを収めている。巻頭に駒澤大学



の櫻井秀雄総長、タイ国ワット・パクナム住職のプラ・タム・パンヤー・ボデー大僧正が祝辞を寄せている。

訪問国はインド、アメリカ、タイ、韓国、台湾、ミャンマー、カンボジア、スリランカ、マレーシア、中国の各国。カラーグラビアは、アジアを舞台に活躍する行動派の写真家として知られる田村仁（スリランカ、韓国を担当）、松本栄一（インド、中国を担当）、樋口英夫（ミャンマー、タイ、カンボジアを担当）の各氏が自身の作品を提供。佐藤常務理事の軽妙な筆致で世界行脚の内容と育英事業の成果が記録され、まさに「法燈は海を越えて」の実証録となった。

A 五判・三二〇ページ

頒布価 二、五〇〇円

記念出版『法燈の国際化をめざして』（法燈は海を越えて）

私の読書日記 女心、男心、仏心の書

歴史学者 木村尚二郎

『週刊文春』6月2日発行／第21号より転載

（前文省略）

「ぎやーてーぎやーてー はーらーぎやーてー
はらそうぎやーてー ぼーじいそわか」
と、亡くなった父は幼くして死んだ妹のため、
いつも仏壇に向って「般若心経」を唱えていた。
その意味は、「みんなて手を取り合って、悩み苦し
みのないすばらしい世界へ行こう」というこ
とだという。

こう教えてくれる横浜善光寺住職、黒田武志
師が主宰する留学僧育英会『法燈は海を越えて』

（平成六年四月 成寿山善光寺 二五〇〇円）

は、アメリカ、ロサンゼルス禅センターでの首
座法戦式の模様を伝えて、まことに興味深い。
首座とは一山の最高位のこと、ここでは、父
親が日本人、母親がポルトガル人の女性であつ
た。彼女に対し、アメリカ人・メキシコ人・ポ
ーランド人その他さまざまな人が挑戦する禅問
答が、法戦式である。日本ではサンプルでやり
とりする形式的なものであるが、ここでは英語
での真剣勝負であつた。

問者 ……夕べに兎を食することあらば、その料理法いかに。

首座 われ知らず。

問者 首座の口辺に兎の油あり。それでも知らぬか。

首座 われ汚れ放題。体中に汚れ充滿せり。

問者 兎の味いかが。

首座 他と変わらぬ。

問者 ……われ、手に薬あり。真偽、試してみらるや否や。

首座 不要。

問者 いかに治癒するや。

首座 まず、汝自身を治癒すべし。

問者 終身、病める者に、いかなる提言ありや。

首座 病、治るといえども、いまだ病めると

ころなしといわず。

問者 尊答を拝謝し奉る。

首座 May your life go well. (これは、珍重・万歳の訳)

つぎつぎと発せられた三十五人の問いに対する、首座の応答ぶりは流石である。いずれ、「日本はアメリカから禅を輸入するようになるのではないか」(佐藤俊明)と、本書は真面目に心配する。アメリカもいま、悩みが深いのであらう。

今回のタイトルは、「女心、男心、仏心」としよう。

記念出版『法燈の国際化をめざして』（法燈は海を越えて）

『法燈は海を越えて』の反響

たくさんのお便りありがとうございました。

生き生きとしたすばらしいご本

東京都葛飾区 林 博明先生

このたびは、ありがたいご本『法燈は海を越えて』を頂戴いたしました。恐縮しております。十周年にあたり記念出版されたご苦勞、さぞたいへんであったろうとしみじみ感じております。五十七名を派遣し、十七カ国に達したということは、言葉ではいい尽くせないほどのすばらし

い国際交流であります。黒田大圓方丈の素直な心・ありのままの心が、今日の出逢いとなり、歴史を物語っているのですね。

とにかくご本の各章がすばらしい。ご老師、諸先輩のご体験の生き生きとした文章表現。写真も美しい。とくにクシナガラ朝日の昇る瞬間のシャッターはみごとです。毎日大事に拝読させていただいております。

山門の繁栄と留学僧育英会のご発展、ご家族のみなさまのご多幸を祈念申し上げます。

中中中中中中

釈尊に相通ずるご聖業

山形県鶴岡市 阿部 全也老師

『法燈は海を越えて』——誠に貴重な記録、慎んで拝読いたしました。省みますれば今日までの経過は、宗祖を通して釈尊に還る」というという、貴台の崇高なるご信念、強いて申し上げれば、強い執念の結晶ではなからうかと、敬服合掌あるのみです。

十年におよぶ辛苦の開拓は、いよいよ開花を迎えることと存じます。記録を拝見いたしますと、育英の恩恵にあずかった留学僧はすでに五十七名にもおよんでおりますが、今後はその果実の熟成期を迎えられるわけです。と同時にまた次々と新しい種子の育成を手がけなければいけないわけで、誠に終わりのないご聖業と推察いたします。二千数百年前、釈尊がインドを行

脚教化に精進なされた故事と相通ずるものが感じられます。誠に貴い行事、心からそのご発展を祈念いたします。

居ながらにして各国の 佛教事情がわかって

中中中中中中

東京都立川市 伊藤 勲殿

今日まで各国に派遣された留学僧の数も五十名を越え、その活動の場が世界十数カ国におよんでおられるとのこと：佛教を基軸とした人類至福・世界平和を願われるお心の深さを感じさせていただいております。今回、『法燈は海を越えて』によって、これまでに派遣なさった国々を巡られての各国の佛教事情を、家に居ながらにして彷彿させてもらえ、新たな知識を得る思いで興味深く拝読させていただきました。貴重な資料として長く大切に保存させていただきます。誠にありがとうございます。

中中中中中中中

はるかなる佛蹟に
親しみが感じられて

東京都大田区 水野弥穂子先生

このたびは立派なご本、ありがとうございます。美しいグラビアの数々にも、ずいぶんおなじみにならせていただきました。はるかなる佛蹟が親しくなりましたのも、貴誌のおかげでございます。

新たな感動を受けました

中中中中中中中

滋賀県愛知郡 佐々木教悟先生

いろいろとご苦勞の積み重ねにより実績をあげられつつ今日の成果を得られましたこと、同慶に堪えません。ご本の中の「現状に至る辛苦と将来への抱負」なる一文を読ませていただき、新たな感動を受けました。

中中中中中中中

実に尊く、貴老師ならではの

愛知県知多郡 神戸 信寅先生

『法燈は海を越えて』には、育英会の悲願が開花していく様子が書かれています。実に尊く、貴老師ならではのと拝察しているところです。

一冊の中に半生が凝縮

中中中中中中中

東京都世田谷区 田上 太秀先生

一冊の中に、貴殿の半生のご苦勞とご活躍が細かに記録され、将来の展望も述べられており、敬服いたしております。

中中中中中中

一人の人間がこんなに多くの偉業を

佐野市 若林 秀 殿

『法燈は海を越えて』を読ませていただき、

一人の人間が一生のうちにこんなに多くの偉大な仕事をできるんだと驚嘆するとともに、自分の無力さを反省させられました。

梓の拡大、ありがとうございました

神奈川県川崎市 新井 勝龍先生

中中中中中中

海外派遣にとどまらず、外国から日本への留学僧も受け入れるべく梓を拡大されたのは、各佛教大学への留学僧が増加している現状に相応するもので、佛教の国際化上、誠にありがたいことと感謝申し上げます。

中中中中中中

貴育英会に助けられています

東京都世田谷区 吉津 宜英先生

『法燈は海を越えて』ありがとうございました。東京など都心の、異常ともいえる生活環境の中で、駒沢大学の研究員たちは、貴育英会からの奨学金によって本当に助けられております。ありがたいことでございます。これからは、大先輩なども、良い奨学金が出せるかどうかで、生き残れるかどうかが決まることでしょう。ご本を読み、学ばせていただきしたいと思います。